

特別展

# やまと絵

受け継がれる王朝の美

2023

10.11 WED

(水)

• 12.3 SUN

(日)



東京国立博物館 平成館  
[上野公園]  
TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park)

PRESS RELEASE

プレスリリース

YAMATO-E  
TRADITIONS OF BEAUTY FROM THE IMPERIAL COURT

# 開催趣旨

平安時代前期に成立したやまと絵は、以後さまざまな変化を遂げながら連綿と描き継がれてきました。優美、纖細といったイメージで語られることの多いやまと絵ですが、それぞれの時代の最先端のモードを貪欲に取り込み、人びとを驚かせ続けてきた、極めて開明的で野心的な主題でもありました。伝統の継承、そして革新。常に新たな創造を志向する美的な営みこそが、やまと絵の本質と言うことができるのでしよう。

本展は千年を超す歳月のなか、王朝美の精華を受け継ぎながらも、常に革新的であり続けてきたやまと絵を、特に平安時代から室町時代の優品を精選し、ご紹介するものです。これら「日本美術の教科書」と呼ぶに相応しい豪華な作品の数々により、やまと絵の壮大、かつ華麗な歴史を総覧し、振り返ります。

## やまと絵とは

やまと絵の概念は時代によって変化します。平安時代から鎌倉時代頃にかけては、中国的な主題を描く唐絵に對し、日本の風景や人物を描く作品をやまと絵と呼んでいました。それ以降は、水墨画など中国の新しい様式による絵画を漢画と呼ぶのに対し、前代までの伝統的なスタイルに基づく作品をやまと絵と呼びました。中国に由来する唐絵や漢画といった外来美術の理念や技法との交渉を繰り返しながら、独自の発展を遂げてきたのがやまと絵です。四季の移ろい、月ごとの行事、花鳥・山水やさまざまな物語など、あらゆるテーマがこれまでいました。



まぶしく輝く浜辺の風景に多くの花木や草花、鳥の姿を重ね、画面右から左に移ろう季節をも表わした大変にぎやかな屏風。古代・中世やまと絵のさまざまな要素を集約した、本展一押し、究極のやまと絵です。

## 四大絵巻 日本絵巻史上の最高傑作

数ある絵巻作品の中でも、最高傑作として名高いのが平安時代末に制作された「四大絵巻」です。展示期間①には30年ぶりに四大絵巻が集結。このほかの期間にも、古代・中世絵巻の名品が続々と登場します。



画面人物の心情をも反映した画面には、高度な物語理解に基づく王朝貴族の美意識が凝縮されています。美しい料紙装飾と調書も必見。2週ごとの展示替えにより全4段を展示します。  
【展示期間: ②】  
閑居 絵合① 柏木二② 横笛③(以上、徳川美術館蔵)、夕霧(五島美術館蔵)④】

### ストーリー展開の妙、ここに極まれり 信貴山縁起絵巻

飛倉巻 部分①②

平安時代・12世紀 奈良・朝護孫子寺蔵

信貴山朝護孫子寺を開いた命運の奇跡の数々を描いた説話絵巻。次々に展開する物語に目が離せません。画中の山水表現も平安時代やまと絵の極致を示すもの。展示替えにより全3巻を展示します。

【展示期間: 飛倉巻①②、延喜加持巻③、尼巻④】



### 描線の妙技を堪能

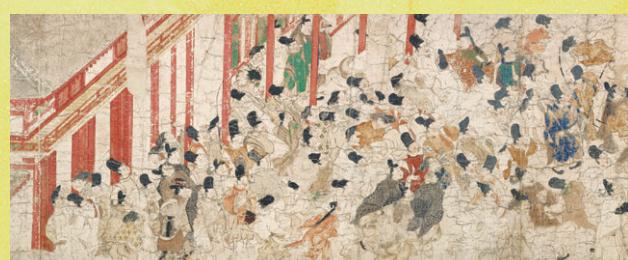
国宝

鳥獣戯画

平安・鎌倉時代・12~13世紀 京都・高山寺蔵

擬人化された動物たちの活き活きした姿だけでなく、背景の草花や川といった自然描写は全て墨線のみで描かれます。当時のやまと絵の描線を考えるうえで重要な作品です。展示替えにより全4巻を展示します。

【展示期間: 甲巻①、乙巻②、丙巻③、丁巻④】



### 宮廷絵所絵師の描く歴史的事件 伴大納言絵巻

卷上 部分①

平安時代・12世紀 伝常磐光長筆 東京・出光美術館蔵

平安時代前期に起きた応天門炎上事件に取材した絵巻。多くの群衆、燃え盛る炎、立ちのぼる黒煙など、ドキュメンタリー映画さながらの迫真性。宮廷絵所絵師・常磐光長筆と考えられています。

【展示期間: 卷上①】

# 見どころ

1

これぞ日本美術の王道! 教科書で見た「あの」作品が目白押し  
教科書や美術全集などでおなじみの作品が一堂に集結  
総件数約240件の7割超が国宝、重要文化財

2

やまと絵の真髓を多様なジャンルの作品から探る  
絵画のみならず、書跡や工芸作品など、  
やまと絵の美意識を支えた同時代の作品も数多く出品

3

展示期間ごとに変わる名品の数々  
四大絵巻、神護寺三像、三大装飾経など、超豪華作品が入れ替わりでお目見え

※会期中、一部作品の展示替えを行います。展示替えのある作品は、展示期間を以下のマークで示しています。期間表記のない作品は通期での展示を予定しています。また、一部作品は巻替えや場面替えがあります。

1 10/11(水)~22(日) 2 10/24(火)~11/5(日) 3 11/7(火)~19(日) 4 11/21(火)~12/3(日)

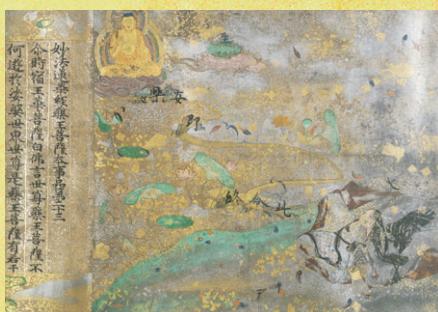


光に満ちたパラダイスの風景

重要文化財

浜松図屏風

室町時代・15~16世紀  
東京国立博物館蔵



薬王菩薩本事品 第二十三 部分 3[4]

国宝 平家納経

平安時代・長寛2年(1164)奉納  
広島・嚴島神社蔵

[展示期間: 分別功德品 第十七 1[2]、薬王菩薩本事品第二十三 3[4]]

## 三大装飾経

善美を尽くした至高の装飾経

貴族たちは、仏のご利益を求めて競うように煌びやかな経巻を作りました。そこには彼らの祈りと高い美意識が表われています。その中で最も美しいと評される三大装飾経(久能寺経、平家納経、慈光寺経)が展示期間3[4]で集結します。



妙莊院本事品 第二十七 部分  
国宝 慈光寺経



国宝 久能寺経  
平安時代・12世紀  
【展示期間: 葉草喻品第五 3、隨喜功德品第十八 4】



国宝 伝源頼朝像



国宝 伝平重盛像  
鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵  
【展示期間: 2】



国宝 伝藤原光能像  
鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵  
【展示期間: 2】

## 神護寺三像

やまと絵系肖像画の大作

神護寺に伝わる「伝源頼朝像」「伝藤原光能像」とともに「神護寺三像」として名高いやまと絵系肖像画です。いずれも横幅メートルを超す一枚絹に描かれた、ほぼ等身大の巨大人物像。展示期間2ではこの三像が一堂に会します。

## 序章

# 伝統と革新

## やまと絵の変遷

やまと絵は中国由来の唐絵、もしくは漢画との対概念で成り立っているため、その概念は時代によつて変化します。これら唐絵、漢画と見比べながら、平安時代から室町時代に至るやまと絵の歴史を大きく捉えます。

## 現存最古のやまと絵屏風



国宝  
山水屏風

鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵

遠くから見ればおだやかでありながら雄大な山並みが広がり、近くで見れば貴族や庶民の暮らし細やかに描かれています。失われた平安時代やまと絵の姿を伝える大変貴重な作例です。[展示期間: 1・2]



## 室町時代やまと絵屏風のダイナミズム

国宝 日月四季山水図屏風

室町時代・15世紀 大阪・金剛寺蔵

うねるかのような水流の背後に雄大な山景を配し、日輪・月輪、そして四季の要素を散りばめた屏風。金銀もまばゆく輝き、室町時代やまと絵の雄渾さ、力強さを象徴する作品です。[展示期間: 3・4]



## 平安時代の恋愛小説を描いた絵巻

国宝 寝覚物語絵巻

平安時代・12世紀 奈良・大和文華館蔵

満開の桜の下、三人の童子たちが笛を吹いています。金や銀で美しく彩られた華やかな場面ですが、曲がりくねる桜の木に、恋に悽む主人公の苦悩が投影されます。[展示期間: 3]



## 現存最古級の紙絵のやまと絵

重要文化財 法華経冊子

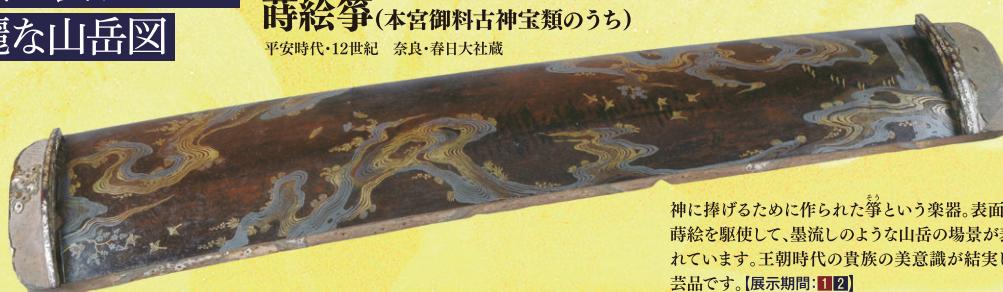
平安時代・11世紀 京都国立博物館蔵

中国製の唐紙に法華経を書写した冊子。一部の下絵に女房や男性貴族などが描かれ、物語絵、あるいは和歌の内容を描いた歌絵の一部と考えられています。平安時代の小画面絵画(紙絵)として極めて貴重な作品です。[展示期間: 3・4]

## 蒔絵で表わされた美麗な山岳図

国宝 蒔絵箏(本宮御料古神宝類のうち)

平安時代・12世紀 奈良・春日大社蔵



神に捧げるために作られた箏という楽器。表面には、蒔絵を駆使して、墨流しのような山岳の場景が表わされています。王朝時代の貴族の美意識が結実した工芸品です。[展示期間: 1・2]

## 1章

# やまと絵の成立

やまと絵の成立と発展には、貴族たちの文化的な営みが大きな基盤となりました。これら王朝貴族の美意識が込められた調度手本や装飾絵、工芸品などとともに、四大絵巻をはじめとする院政期絵巻の数々から、平安時代やまと絵の実態に迫ります。



## 和と漢が幾重にも交差した名筆

国宝 和漢朗詠集 卷下(太田切)

平安時代・11世紀 東京・静嘉堂文庫美術館蔵

色変わりで織がれた中国製の唐紙や蠶糞の上に、草木や鳥などのやまと絵を金銀泥で描いた料紙を使っています。そこに、和歌と漢詩を撰集した「和漢朗詠集」を書写しています。[展示期間: 3・4]

# やまと絵の新様 —鎌倉時代—

鎌倉時代になつても、やまと絵を担つていたのは宮廷貴族社会でした。写実性に関心を払いながらも人物や風景の理想化が志向され、王朝時代を追慕する美術やさまざまな主題の絵巻が数多く作られました。これら新しいやまと絵の動向をご紹介します。



合戦絵巻の代表的名品

国宝 平治物語絵巻 六波羅行幸巻 鎌倉時代・13世紀 東京国立博物館蔵

平安時代末に起こった平治の乱に取材した絵巻。大型の料紙に鮮やかな彩色、謹直な線描など新時代の美意識を感じさせます。信西巻(静嘉堂文庫美術館蔵)、六波羅合戦巻断簡も同一期間に展示します。【展示期間:1月2日】



緊迫した状況下に描かれた伝説の肖像画

国宝 後鳥羽天皇像 伝藤原信実筆 鎌倉時代・13世紀 大阪・水無瀬神宮蔵

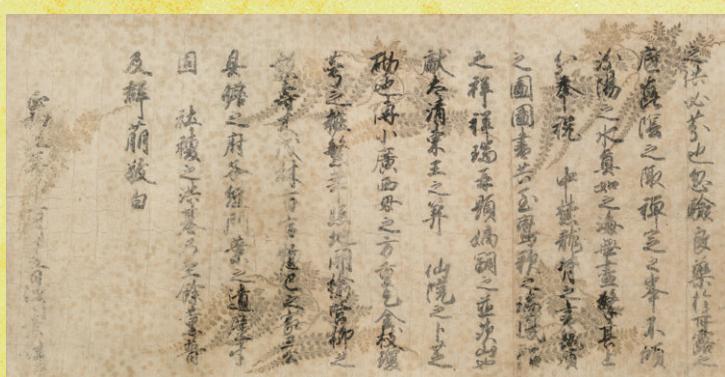
承久の乱後、隠岐配流直前の後鳥羽天皇の姿を、似絵の名手・藤原信実が描いたとされる画像。小ぶりの画面、不安定な構図は、本図が短時間に描かれたことを物語っているようです。【展示期間:3月】



失われた王朝時代を追慕する

重要文化財 紫式部日記絵巻断簡 鎌倉時代・13世紀 東京国立博物館蔵

紫式部の仕えた藤原彰子(藤原道長の娘で一条天皇の中宮)を中心とする華やかな宮廷生活を描きます。後京極良経筆と伝わる詞書、金銀で加飾された料紙装飾にも当時の美意識が垣間見られます。

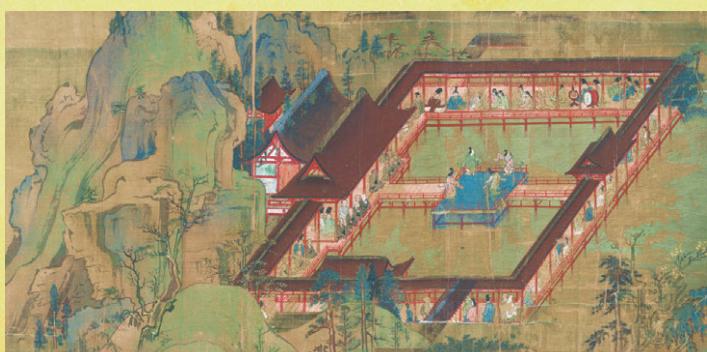


伏見天皇が藤の花の描かれた料紙に記した願文

重要文化財 伏見天皇宸翰願文 ふしみてんのうしんかんもん

鎌倉時代・正和5年(1316) 兵庫・黒川古文化研究所蔵

金銀泥で藤の花が大きく描かれた料紙を使っています。平安時代の書をもとに独自の和様の書風を確立した伏見天皇が、「法華経」他を春日大社に奉納する際に記した願文です。【展示期間:1月2日】



一遍の巡った諸国の霊地を絹本12巻に描く

国宝 一遍 ひじりえ

一遍聖絵 まへいせいえ 伝法眼円伊筆 鎌倉時代・正安元年(1299) 神奈川・清淨光寺(遊行寺)蔵

時宗の祖・一遍の事跡を描いた伝記絵巻。一遍の訪れた全国の寺院の様子は宮曼茶羅などの先行図樣を参照して詳細に描かれてています。卷第七(東京国立博物館蔵)も1月2日の期間に展示します。

【展示期間:卷第九1月2日、卷第十3月4日(それぞれ場面替)】

# やまと絵の成熟

—南北朝・室町時代—

南北朝・室町時代には、水墨画に対抗するかのように多彩な色目と金銀加飾による華やかで眩い画面がやまと絵で志向されます。和漢の美が融合し、新たな文芸に触発された美術が花開いた成熟期のやまと絵の様相を探ります。

## 重要文化財 百鬼夜行絵巻

伝土佐光信筆  
室町時代・16世紀 京都・真珠庵蔵

闇夜に行列する妖怪たちの姿を描いた絵巻。コミカルな妖怪たちの姿に目を奪われますが、その画技はとびぬけて優れたもの。宮廷絵所預・土佐光信筆の伝承を持つ室町絵巻の優品です。

【展示期間: 1月2日 / 3月4日で場面替え】

部分 3 / 4

## 豊饒なる室町絵巻の優品



## 四季絵の要素を取り込んだ 成熟期の源氏絵

### 源氏物語図扇面貼交屏風

室町時代・16世紀  
広島・淨土寺蔵

右隻

源氏物語の著名場面を60面の扇面に描いた作品。物語の順ではなく、描かれた場面の季節に沿って、春夏秋冬の順に屏風に貼り交ぜています。源氏絵の新たな享受のかたちを示す作例です。【展示期間: 1月2日】



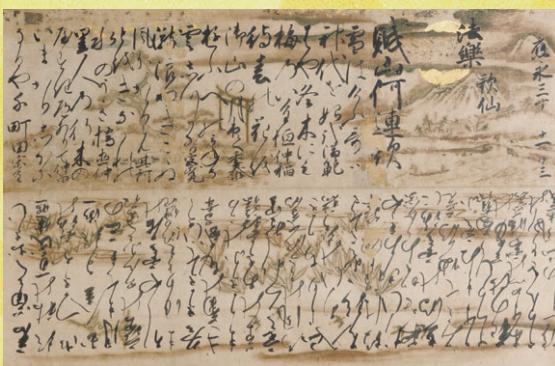
## 漢画に学んだ やまと絵屏風

### 四季花鳥図屏風

伝土佐光周筆  
室町時代・15世紀  
東京・サンタリー美術館蔵

中国明代の花鳥画に倣ったやまと絵屏風。画面の花木、草花、鳥は中国画由来のものが中心ですが、画面を覆う金、並置的なモチーフ配置による奥行きの希薄さはやまと絵の表現に基づくものです。【展示期間: 3月4日】

右隻



初折 1 / 2

## 華やかな下絵が描かれた料紙

室町時代・応永30年(1423)  
愛知・熱田神宮蔵

銀泥や群青・緑青を使って山水や鳥居、松などを描いた料紙です。熱田神宮大宮司他36人で上句と下句を連なって詠み合った連歌を、抑揚のある書風で揮毫しています。二紙を半期で展示替えします。【展示期間: 初折 1月2日 / 二折 3月4日】



## 満月に 照らされた 秋野の枕

### 砧跡絵硯箱

室町時代・15世紀  
東京国立博物館蔵

月夜の秋野にぼんと枕が置かれた不思議な景色が蒔絵で表わされています。表打つ音を聞くにぞ知られぬる里遠からぬ草枕とは」という和歌を象徴的に表わした情景です。

# 宫廷絵所の系譜

## 平安時代末の京都を描いた幻の絵巻

### 年中行事絵巻(住吉本)

ねんじゅうぎょうじえまきすみよしほん  
住吉如慶他筆 江戸時代・寛文元年(1661)頃  
原本:常磐光長筆 平安時代・12世紀

平安時代末、後白河天皇の命令で作られた宮中や都の儀式行事祭礼を描いた絵巻。原本は宮廷絵所常磐光長が描いた60巻にも及ぶ大作で、本作は原本焼失前に写された貴重な作例。半世紀ぶりの展覧会公開です。

[展示期間:卷第一①、卷第三②、卷第五③、卷第六④]

卷第五 部分③



**石山寺の歴史を  
美しい四季の風景と  
ともに描く**

### 重要文化財 石山寺縁起絵巻

伝高階隆兼筆 鎌倉～南北朝時代・14世紀 賀賀・石山寺蔵

『更級日記』の作者、菅原孝標女が石山寺に参詣した場面です。道中激しい風雪に見舞われたとあり、降り積もった雪が美しい自然景は、宮廷絵所絵師・高階隆兼の画風を今に伝えてくれます。

[展示期間:卷第二①②、卷第三③④]



卷第三 部分③④



卷上 部分 藤原行広筆 ①②

南北朝時代末から室町時代初頭にかけて、宮廷絵所預を歴任したやまと絵師たち6人によって描かれた絵巻。調書も後小松天皇、將軍足利義持など、豪華メンバーによって染筆された稀有の作例です。[展示期間:卷上①②、卷下③④]

### 6人のやまと絵師たちの競演

### 重要文化財 融通念佛縁起絵巻

六角敏経他筆 室町時代・応永24年(1417) 京都・清涼寺蔵



### 戦国のやまと絵師

### 土佐光信晩年の作

### 重要文化財 清水寺縁起絵巻

土佐光信・光茂筆 室町時代・永正14年(1517) 東京国立博物館蔵

京都・清水寺の歴史を描く3巻の絵巻。室町時代後期、宮廷絵所預を半世紀もの長きにわたって務めた土佐光信の筆。息子で絵所預を継いだ光茂担当の段もある、親子合作の絵巻です。[展示期間:③④]



### 中世最後のやまと絵師の作品

### 源氏物語図扇面

伝土佐光元筆 室町時代・16世紀 東京国立博物館蔵

土佐光信の孫で光茂の子、光元筆と考えられる作品。織田信長に仕えた光元は但馬攻めに従軍して戦死。これにより土佐家は断絶します。光元の死は古代・中世と続いたやまと絵の一つの画期を象徴するものでしょう。[展示期間:①～③]

やまと絵を主に描いてきたのは宮廷絵所絵師です。平安時代以来、日本美術における「和」の領域を担つてきた彼らの作品を通覧することで、時代を超えて継承されるやまと絵の美意識を探求します。

# 終章

# やまと絵と四季

およそ千年にもわたって描き継がれてきたやまと絵において、四季の景物を描くことは主要なテーマの一つでした。過去の伝統を踏まえながらも新たな表現を獲得してきたやまと絵の真髄を、四季絵の要素を踏まえた作例を中心にご覧いただきます。



近世風俗画を予感させる新旧融合のやまと絵

重要文化財 月次風俗図屏風 室町時代・16世紀 東京国立博物館蔵

月ごとの行事や景物等を描く月次絵の伝統を引く作例。賀茂競馬、春日若宮おん祭など従来的な画題に加え、羽根つき、花見、田植え、雪遊び等、庶民の営みを多く描くのは新時代の感覚。修理後初公開です。【展示期間: 11月1日(水)～12月3日(日)】



輝く金属板の日月が四季の景物を照らす



重要文化財 日月山水図屏風 室町時代・16世紀 東京国立博物館蔵

金属板の日輪、月輪をそれぞれ配し、桜や柳によって春夏、薄や刈田、雪によって秋冬の季節を表わした屏風。元は別々に伝來した屏風が取り合わされ、四季絵の体裁が整えられたものです。【展示期間: 日図1・2、月図3・4】

## 特別展「やまと絵 -受け継がれる王朝の美-」

### 開催概要

会期 2023年10月11日(水)～12月3日(日)

主催 東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社

協賛 凸版印刷

お問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

展覧会公式サイト <https://yamatoe2023.jp/>

公式Twitter @yamatoe2023

●開館時間、休館日、入館方法、観覧料等の情報は、確定し次第、展覧会公式サイト等でお知らせします。

●展示作品、会期、展示期間等については、今後の諸事情により変更する場合があります。  
最新情報は展覧会公式サイト等でご確認ください。

●会期中、一部作品の展示替えを行います。詳細は展覧会公式サイトでお知らせします。

※本プレスリリース掲載画像を無断で転載することを禁じます。



TNM 東京国立博物館 平成館  
[上野公園]  
TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

●JR上野駅公園口・鷺谷駅南口より徒歩10分

●東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、東京メトロ千代田線根津駅、京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

### 報道関係お問合せ

特別展「やまと絵」広報事務局(ユース・プラニング センター内)

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4階 TEL:03-6821-8808 FAX:03-6821-8869 E-mail:yamatoe2023@pcpr.com